

2011年8月29日

## 夕張レポート<第32回>

### ～夕張市主幹を派遣～

総務局人事部では、平成20年から、財政再生団体である北海道夕張市に若手職員を派遣し、地方行政を取り巻く厳しい実情を肌で感じ、現地で地域への支援活動など社会貢献活動を体験してもらう取組を行ってきました。このことにより、地域及び社会に貢献する志向や業務運営に必要な視点を養うことを目指しています。

今年4月、元都職員で、夕張市派遣の第1期生でもある 鈴木直道さんが、夕張市長に就任しました。その鈴木市長から、東京都に対し、幹部職員派遣等の支援要請がありました。

これを受け、都では、7月1日付けで高畠さんを派遣しましたが、夕張市との連携をさらに強化するため、8月1日付けで、もう一名職員を派遣しました。

今回は、8月から夕張へ派遣された金光恭児さん(知事本局政策部政策課)からお話を伺います。

#### ■ 自己紹介



金光 恭児さん

私は、コンピューター関係の会社の勤務を経て、平成8年に入都し、最初は総務局の情報システム管理課に配属されました。当時はメールシステムより交換便が一般的で、事務連絡を数十局分、袋詰めすることに、かなり抵抗感がありました。TAIMS構築の際に、ネットワーク環境整備の担当として関わったときは、こうした思いも込めて抜本的なシステムの改善を目指しました。その後、主任交流で港湾局へ異動し、平成21年から知事本局在籍です。

#### ■ 派遣前に取組んできたこと

今年の5月から夕張市との連携を担当することになり、月末には、百聞は一見に如かず、夕張へ出向き、市職員から施設状況等の説明を受けました。観光資源は多数あるのですが、視察した5月下旬の土日には、観光客らしき人が少なく、賑わい創出

やまちの活性化は、厳しい状況にあると感じました。ただ、こうした中でも、元気で明るい地元のお年寄りや子供たちと接することができ、少しホッとして調査を終えたのを憶えています。東京に戻ってからの6月以降、東京・夕張間の連携策に結びつきそうな事案について、夕張市の状況や課題を、関係局へ説明・報告しました。

## ■追加派遣の打診を受けて

夕張市への追加派遣の話が出た際には、「誰にせよ、夕張に行くのは当然のこと」だと思いました。それは、5月からこの業務に携わってきて、夕張と東京の距離感や温度差を感じていたからです。東京に戻ってからの作業は、市職員とのメールや電話でのやり取りです。理事が7月に派遣されたことでかなり解消されましたが、同じ卓上で打合せができる訳でもなく、細かい部分では認識がズれることもありました。市の置かれている状況や考えていることを漏れなく東京に伝え、また、東京からの提案や情報を正しく市に提供することが、自分の役割の一つだと考えています。

## ■派遣されてから

8月1日に辞令を受け、夕張市の総務課に主幹として勤務することになりました。総務課では庶務、文書、組織人事、広報などのほか市長や理事の秘書を担当しており、私は理事の秘書事務や特命事項を担当しています。東京都との市側の窓口としての役割も、そのひとつです。

高島理事の担任事項である上下水道については、着任当初に市民の声を直接聞きたいとの思いから、水道料金改定に関する地元説明会に同行させていただきました。

都との窓口としては、連携につながるものがないかを調査するため、例えば、農家にエゾシカ対策の状況を視察に行くなど、現場に積極的に足を運ぶことを心掛けています。エゾシカは農地に入り作物を荒らすため、ソーラーシステムを活用した防除電気柵などを設置しているものの、絶対数が多いので捕獲を強化したいなど、北海道ならではの実情に気づかされました。

また総務課の一員として、福島市の子どもたちの「夏のリフレッシュ体験事業」受入れの町内会事前説明に加わったり、夕張の夏の大きなイベントである夏祭りでは、盛り上げ隊として市長・市職員をはじめ市議会の方々と一緒に踊りに加わるなど、週末行事にも参加しています。

景気の影響のためか、夏祭りの花火大会は今年が最後と言われ、何とかスポンサーが見つからないものかと思っています。地域再生の観点からも、イベントの存続や拡充は重要な要素です。このような体験の中から、都との連携策に結びつくもの、具体的な施策に活かせる政策の苗を見つけ出していきたいと考えています。



農地に設置された電気柵



夏祭りにも盛り上げ隊として参加

## ■これからの季節の夕張

メロンの最盛期は7月でしたが、首都圏はまだまだ暑い夏、節電の夏ですから、避暑、夏休みに北海道夕張までお越しください。北海道の9月は最も過ごしやすく、紅葉の名所である滝の上公園は10月上旬が見ごろになります。時折、熊や鹿の目撃情報なども寄せられ、大自然の豊かさと脅威が共存するまちなみを身近に感じられます。都職員の皆さんには、ぜひ、夕張に関心を持つことから始めていただきたいと思います。

～買って応援！夕張応援水を都庁内セブンイレブンで販売！

～

8月から、都庁第二庁舎店1階の「セブンイレブン」で、夕張を応援する飲料水「ゆうきとがんばり」を1本95円で限定販売しています。（1本あたり10円が夕張へ寄付されます。都内のコンビニでの販売はここだけです！）